

競技上の注意・連絡事項

- 1 この大会は2015年度日本陸上競技連盟競技規則並びに大会規定に基づき行いますが、参加者の年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行します。
- 2 各団体の監督による受付(7:40~8:10)をチーム受付とします。棄権する選手がいる場合には受付にて届け出て下さい。その後の選手変更については、第1ゲート競技者係に届け出て下さい。
- 3 各団体の監督による打ち合わせ会議を8:30から行いますので必ず出席して下さい。
- 4 招集は、トラック競技は競技開始の30分前に開始し20分前に完了。フィールド競技は40分前に開始し30分前に完了するので、第1ゲートに設ける招集所(競技者係)に集合して下さい。役員(競技者係)が確認します。(各団体の責任者は、選手に自分の大会用ナンバー、及び組・レーンを理解させておいてください。)
- 5 スパイクシューズは使用可です。ただし、9mm以下の全天候型ピンとします。なお、はだしの参加は危険なので認めません。
- 6 スタートについては、短距離種目でもスタンディングスタートを認めます。なお、不正スタートについては、同じ選手が2回不正スタートをした場合、その選手を失格とします。
- 7 セパレートレーンを使用する種目(100m、80mH、4×100mリレー)では、必ずプログラム記載通りにスタートからフィニッシュまで、そのレーンを使用して下さい。他のレーンに入ると失格となる場合があります。
- 8 リレーにおいて、助走マーク(10mの補助ゾーン)の使用を認めます。ただしマーカー(テープ)の使用は指定の物1か所のみです。必要団体は受付でも配布します。なお、マーカーはレース後、各チームで外して下さい。
- 9 リレーのオーダー用紙は、予選は朝の団体受付時に提出して下さい。なお、決勝は、招集開始時刻の1時間前までに招集所に提出して下さい。5人で申し込んでいるリレーに限り、選手の変更が可能です。ただし、1人2種目(リレーを含む)という大会規定を守ってください。また、同じ団・同じクラブでも、Bチーム登録の選手をAチームに移動するなどということはできません。
- 10 80mHのハードルは、高さ70cm、ハードル数9台、スタートから1台目まで13m、インターバル7m、最終ハードルよりフィニッシュまで11m、すべて男女共通です。
- 11 5年走幅跳の試技は3回です。6年走幅跳は、3回試技の後トップ8を選出し、残り3回の試技を行い順位を決定します。
- 12 走高跳の跳び方は、「はさみ跳び」及び「またぎ越し」とし、必ず足から着地して下さい。足以外からの着地は認めません。なお練習は男女とも100cmで行い、競技は105cmから始めます。120cmまでは5cmきざみでバーを上げ、それ以降は3cmきざみとします。試技をパスする時は、競技役員に申し出て下さい。
- 13 ソフトボール投は、やり投のピットで行います。助走の長さは15m以内、試技は3回です。ボールは主催者が用意した1号球を使用します。
- 14 表彰は、決勝結果のアナウンス後に本部席前で行います。結果アナウンス終了後、3位までに入賞した選手は直ちに表彰係(本部席横)に集合して下さい。本人が来られない場合は、代理の選手を出して下さい。また、4~8位の選手には賞状がありますので受け取りに来て下さい。
- 15 各団体は、参加選手人数により帯同審判員を出して下さい。(10名~19名は1名、20名~29名は2名、30名以上は3名)プログラムと昼食は準備します。8:40に打ち合わせをしますので、エントランスホールにご集合ください。
- 16 競技場所及び雨天練習場以外はスパイクシューズの使用は禁止です。厳守して下さい。
- 17 指導者及び保護者の方は、必ずスタンドで応援・指導・写真撮影を行って下さい。
- 18 競技前の練習は、雨天練習場が使用できます。また、朝の8:45までは、本競技場での練習を認めます。ハードル練習は10:30~12:30バックストレートで認めるので、役員の指示に従ってください。なお、正面玄関前での練習は禁止します。
- 19 全国大会種目で優勝した選手と指導者(場合によっては、2位以下の選手)は、全国大会についての打ち合わせを行います。最終種目終了後会議室(3)へご集合ください。